

市役所本庁舎1階ロビーにボッチャの用具とコートを設置します ～市長とボッチャの選手がデモンストレーションを実施します～

千葉市では、市民の皆様に、パラスポーツに興味・関心を持っていただけるよう、誰でも簡単・気軽に楽しめるボッチャの用具（ボール）と簡易型コートを市役所本庁舎1階ロビーに設置しますので、お知らせします。

また、7月26日（木）市長定例記者会見終了後、お披露目セレモニーとして、ボッチャの大会で目覚ましい活躍をされている選手3名をお招きし、千葉市長とデモンストレーションを行いますので、併せてお知らせします。

1 設置日

平成30年7月26日（木）

2 場所

千葉市役所本庁舎1階ロビー

3 設置する用具等の概要

- (1) 競技用ボール（国際競技規格適合品）
 - ・ボッチャボール（赤色・青色）各6個
 - ・ジャックボール（白色）1個
- (2) 競技用コート（簡易型）
 - ・サイズ：奥行5,250mm×幅2,000mm
 - ・個数：1コート
- (3) その他
 - ・コート脇にルール等を示したボードを設置します。



ボッチャの用具とコート設置イメージ

4 セレモニー

- (1) 実施日時
平成30年7月26日（木）15:15～15:45

- (2) 参加者

熊谷市長
荒井 育子選手（BC3クラス）
白井 達也選手（BC3クラス）
大濱 梨沙選手（オープンクラス）

- (3) 内容

熊谷市長・荒井選手ペア、白井選手・大濱選手ペアに分かれ、対戦式のデモンストレーション（市長と大濱選手は2球投球、荒井選手・白井選手は1球投球（ランプ（勾配具）使用）を2エンドの特別ルールで行う。

5 その他

市役所内での撮影にあたっては、その他の来庁者個人が特定されないように配慮していただくとともに、撮影する場合は、来庁者に予め了解を得るようお願いいたします。

《参 考》

1 ボッチャとは

ボッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式競技です。

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールを当てたりして、いかに近づけるかを競います。「リオ2016パラリンピック競技大会」では、日本は銀メダルを獲得しました。

2 選手紹介

(1) 荒井育子選手

千葉県立桜が丘養護学校中等部・高等部卒業で、千葉ボッチャクラブに所属。平成29年度に行われた第22回千葉ボッチャ選手権BC3クラスで優勝した。

(2) 白井達也選手

千葉県立袖ヶ浦養護学校中等部・高等部卒業で、市原ボッチャクラブに所属。平成28年度に行われた第21回千葉ボッチャ選手権大会BC3クラスで準優勝となった。

(3) 大濱梨沙選手

淑徳大学在学中で、浦安ボッチャ協会に所属。平成29年に行われた第19回日本ボッチャ選手権大会オープン座位で優勝した。

3 クラス分けについて

クラス名		説明	投球	勾配具
BC1		・車いす操作不可で、四肢・体幹に重度のまひがある選手 ・下肢で車いす操作可能で足蹴りで競技する選手	可（足蹴り可）	×
BC2		・上肢で車いす操作がある程度可能な選手	可	×
BC3		・最重度の選手が該当するクラス ・自力による投球ができないため、競技アシスタントによるサポートにてランプを使用し競技を行う	不可	○
BC4		・頸髄損傷や筋ジストロフィーなど、BC1、BC2と同等の重度四肢機能障がいのある選手	可（足蹴り可）	×
オープンクラス	オープン座位	BC1～4に該当せず、座って投球する選手。車いすの使用の有無は問わない。	—	—
	オープン立位	オープンクラスの中でも、立って投球が可能な選手。片麻痺や下肢の骨関節疾患など。	—	—